

## 議事録

会議名	令和2年度第2回加古川市スマートシティ推進協議会
実施日時	令和3年2月18日(木) 13:30~15:15
実施場所	WEB会議にて実施
出席者	【加古川市スマートシティ推進協議会】 高野委員 福田委員 破魔委員 山本委員 野方委員 川向アドバイザー 中田アドバイザー 【事務局】 情報政策課 5名

会議の内容
【司 会】事務局 【配付資料】配布資料1：情報通信技術基盤等の利活用に関する推進方針 指標一覧表 配付資料2：情報通信技術基盤等の利活用に関する推進方針 指標一覧表 令和4年度案 配付資料3：情報通信技術基盤等の利活用に関する推進方針 配付資料4：加古川市スマートシティ構想案 配付資料5：市民参加型合意形成プラットフォーム（加古川市版 Decidim） について
1 はじめに  ・会長、副会長を選任
2 議事（1）情報通信技術基盤等の利活用に関する推進方針の進捗について  (事務局) 推進方針概要とKPI達成状況について報告。  (アドバイザー) 指標4の「オープンデータ活用事例件数」について、活用事例のコンテストのようなものを開催すれば、活用事例の報告が増加するのではないか。  (事務局) そういった取り組みも検討していきたい。 現時点では未定だが、学生と一緒にオープンデータを使って何かできることがないか検討している。  (委員) ハッカソンのような形式で、加古川市のデータを使って遊んでもらうようなイベントを開催すれば、こんな使い方があるのかというように活用方法について知っていただける機会になるのではないか。「活用事例を報告してください」というと、義務感がでてしまうので、こんな事例でも報告して良いんだと思って見てもらえるよう、気軽に参加

できるイベントがあるといいと思う。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。Code for Harima でそのようなイベントの予定はあるのか。

(委員)

昨年2月に高砂市でやってみようという提案はあがったが、新型コロナウイルスの影響で提案があがっただけで終わった。

### 3 議事(1) 情報通信技術基盤等の利活用に関する推進方針の延長と指標の更新について

(事務局)

令和4年度までの方針延長と指標の変更について説明

(委員)

新規指標1の「オープンデータカタログサイトのアクセス件数」について、「ページが読み込まれた件数」か「ページにアクセスしたユーザーの件数」なのか教えて欲しい。

(事務局)

「ページが読み込まれた件数」になると思われる。アクセスポイントが変わってくれば計上される。

(委員)

新規指標1の「オープンデータカタログサイトのアクセス件数」について、平成30年度から令和元年度にかけて数字が伸びているが、何か要因があるのか。

(事務局)

認知が広がったことが要因であると考え。外部機関と話す機会がある度にオープンデータカタログサイトを紹介していた。また、国の資料にオープンデータカタログサイトのURLを掲載していただいたこともあるため、アクセス件数が伸びたと考えられる。

(委員)

「オープンデータカタログサイトのアクセス件数」について、新規の方がアクセスしたか、同一人物が複数回アクセスしたか分かれば良い指標になると思う。

(会長)

参考になるご意見ありがとうございます。

(委員)

Decidimの登録者数について、登録だけしてほとんど意見を出さない人や、一人で複数回意見を出す人もいると思う。単純な登録者数と現在のアクティブユーザーを分けて集計することはできないか。

(事務局)

アクティブユーザーの数字を拾う機能は組み込んでおらず、数を拾うことは難しい。一時的な登録のみで終わってしまうことは事務局も懸念している。継続してDecidimを運用していくために、新規指標4のDecidimによる意見交換を実施した事業件数を増やし、多くの意見が出るようにしていくことが大切だと考えている。

#### 4 議事（2）加古川市スマートシティ構想の報告について

（事務局）

加古川市スマートシティ構想及び Decidim について報告。

（委員）

加古川市スマートシティ構想のワークショップに参加したが、議論のテーマがクリアになっていたので、参加者が意欲的に発言をしており、テーマに沿って議論ができていた。

（委員）

市民に対する周知が十分であったか気になる。

先ほどの指標で、かこがわアプリについてダウンロード数 20,000 件、市民の知っている割合 25%を目標としているが、その数値が高いのか低いのか分かりづらい。指標を達成している状況がどれだけすごいことか伝える方法がないかと感じている。

（会長）

確かに数字だけでは実感がわからないということはあると思う。

（委員）

目標達成のためにどう取り組むのかということが大切である。達成できてない目標に対しては相応の実行計画を入れないと達成できない。そういった実行計画や基準を可視化して、市民に訴えていくといいと思う。

（事務局）

Decidim の登録者数が、市民 26 万人のうち 200 人弱という数字は少ないように見えるが、少しずつ増やし続けるしかないと考える。

また、加古川市と民間の方々でスマートシティについての勉強会を実施したいと考えている。事業のスタートアップに携わる方々と議論の場を設けて、スマートシティやまちづくりについて意見交換すれば、事業や人口の拡大に繋がっていくと期待する。

（委員）

スマートシティを推進するには情報発信が一番大切である。活動の情報発信については協力できると思う。人の目に触れる機会が増えれば物事は変わってくる。

（事務局）

ぜひ協力をお願いしたい。

加古川東高校でワークショップを行ったことについて、加古川市が Decidim で紹介したところ、自分たちの活動が情報発信されることがないためありがたいという言葉をいただいた。このように広報的な部分で苦労されてる方は多いと考えられるので、委員やアドバイザーの方々と協力しながら情報発信を強化していきたいと思う。

（アドバイザー）

加古川市のように自治体単位で防災アプリを提供しているところは多くない。加古川市の取り組みは先進的だと思うので、今後はそれらのデータをどう分析するかが大切になってくる。

スマートシティ構想の中に記載されていたように、アイデアの一例を出すことはいいと思う。たくさんアイデアを収集し、民間や大学でアイデアを形にできる技術を持っている人とマッチングさせるといいと思う。

## 5 議事（3）取組み状況の報告について

（事務局）

国からの採択状況等について説明。

（委員）

3D都市モデルのデータは作成後、オープンデータ化されるのか。

（事務局）

国交省のプラトールというサイトに LOD1 で公開される。ただし、個人情報の関係もあるので、どこまで情報を公開されるかは不明。3D都市モデルのデータをどうやって利活用していくかは、国交省がこれから検討してくと聞いている。

（委員）

机上で防災訓練を行うときに、詳細な情報が欲しいという意見がある。3Dマップであれば、建物の詳細な倒壊予想などに活用出来ると考える。今の防災では共助が大切であり、3Dマップを活用して地元の住民の共助を促進できればと思う。

（事務局）

様々なプロジェクトが進行している。外部機関とも連携していく予定である。

（会長）

議事全体を通して意見等はあるか。

（アドバイザー）

議事（1）の②新規指標について、Decidimの登録者数を新規指標としているが、発言数を指標にしてはどうか。何人が参加したかより、どれだけ議論されたかという指標の方がいいと思うので検討して欲しい。

## 6 閉会

（事務局）

次回の協議会は、来年度を予定しており、改めて日程調整を行うことを連絡。